

ADIC

ADVANCED FUEL INJECTION CONTROL

この度は弊社製品<ADIC>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品はフューエルインジェクターの噴射時期を変更させ、エンジントルク、レスポンスを向上させるコントローラーです。本製品を安全にご使用いただく為に、装着ならびご使用前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。

お願い! 本製品は性能向上、適合追加他の理由により、頻繁に取り扱い説明書の変更をおこなっております。

お手元の取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合、ご面倒でも当社ホームページ上の取り扱い説明書を参考に
取り付け、調整をおこなって下さい。



警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 運転者は、走行中に本製品を操作しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となってしまいます。
- 本体は運転の妨げにならない場所へ固定して下さい。



注意 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 本製品およびハーネスを高温部もしくは水のかかる場所に設置することは絶対にさけて下さい。また製品を落としたり、衝撃を与えたりすると故障の原因になります。
- 製品を分解もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。

注意! * 本体の分解、改造は大変危険です絶対にしないで下さい。そのような状態がある場合は一切のクレームはききません。ご了承下さい。

* 下記メーカーのフルコン及びサブコンには取り付け実績がありません。取り付けは避けて下さい。

・HKS社FコンVプロ ・モーテック ・フリーダム他

【取り付け方法】 適合表を参考に車両の詳細を確認してから作業をおこなって下さい。

注意! (S6)、(V6)は配線方法が異なります。

◎ 配線図とECU端子図を参考にADICをECUへ配線して下さい。

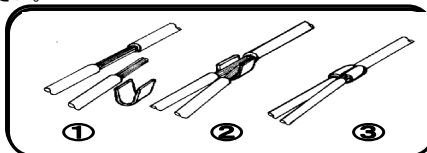
ECU端子図の最新情報はホームページ(PDFファイル)により記載されています。

◎ 配線終了後に設定をして、エンジンを始動させ『カラ吹き』にてエンジンが正常に吹けあがるのを確認して下さい。

◎ ハーネス類を運転の障害にならぬようにまとめて本体を固定して下さい。

【スライスの使用方法】

- ① ECUの配線の適当な場所の被服を剥きます。(約5mm)
- ② 配線の先を10mm程度被服を剥き、ECUへ巻きつけます。
- ③ 圧着ペンチにて接合部をかします。
- ④ ビニールテープにて接合部を絶縁します。



【設定・調整方法】

☆ 取り付け終了後、本体横のディップスイッチが下記の状態になっているかを確認して下さい。(通常使用時)



ディップスイッチは下に降ろすとONになります。

- | | | |
|-----------|---|-------------------------|
| ディップスイッチ1 | ⇒ | モード切替用、下記参照 |
| ディップスイッチ2 | ⇒ | ON(下) |
| ディップスイッチ3 | ⇒ | ON(下) |
| ディップスイッチ4 | ⇒ | OFF(上) *必ずOFFにて使用して下さい。 |

<モード設定>

ディップスイッチ1のON⇔OFFによりモード切り替えがおこなえます。

車両の仕様、状態、走行条件等により車両に合ったモードを選択して下さい。

モード1

噴射時期進角大 ディップスイッチ<1>をOFF * 赤色LEDのみ点灯

* 一部車両はアイドリング付近が多少ラフになることがあります。

モード2

噴射時期進角小 ディップスイッチ<1>をON * 緑色LED、赤色LED点灯

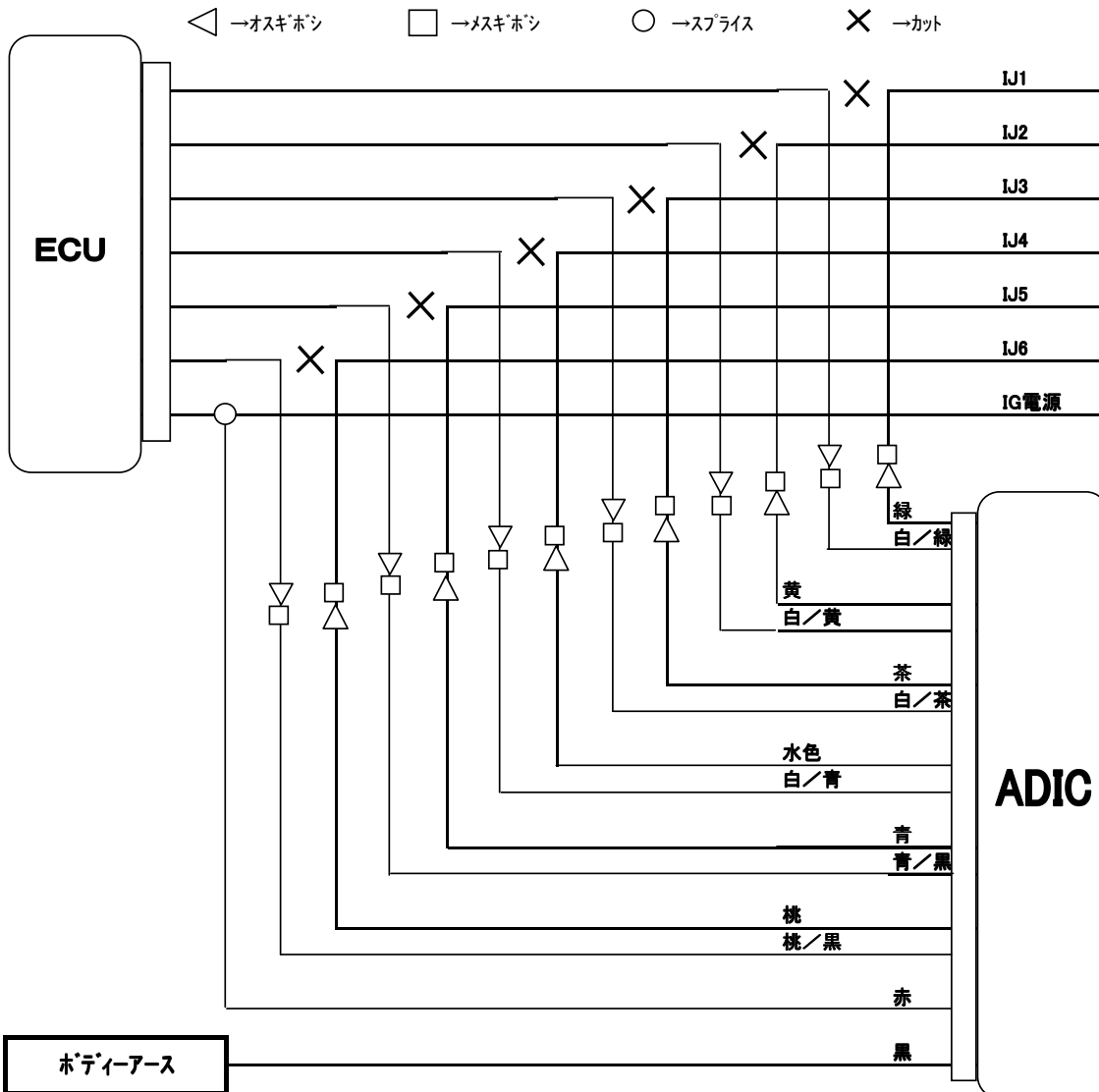
注意!

- * ディップスイッチの操作は必ずエンジン停止時におこなって下さい。
- * ディップスイッチの設定を間違えると車両のヒューズ切れ、ADIC本体の故障をまねきます。
- * ADIC装着による燃焼効率の変化は、プラグの状態が密接に関係します。ラフアイドリング等の症状がひどい場合は純正もしくは純正と同規格の新品プラグとの交換をお勧め致します。(ギャップ、形状他)
- * ADIC装着後、アイドリング～低負荷域の吸入流速の遅い時に燃料値がやや薄くなる場合があります。その部分の燃料値をサブコン、フルコン等にて薄くしてある場合は再調整して下さい。
- * ADICの配線には約2A～程度の電流が流れます。配線の接触不良があるとエンジン不調をおこします。配線は最善の注意をはらっておこなって下さい。

(S6) 直列6気筒車 配線図

車両端子図を参考にADICより出ている14本の線をECUへ配線して下さい。

注意！ 燃料噴射に関わる部分です。接続位置、接触には最善の注意をはらって作業をおこなして下さい。



①車両ECUのIG電源線へADICの赤色線をスプライスにより接続します。

* もしくはイグニッションキーONIにて12Vかかる線へ接続して下さい。

②ADICの黒色線をボディアースして下さい。

③車両ECUのIJ1の線をカットしてECU側へADICの白/緑色線、車両側へADICの緑色線をオス・メスギボシにより接続します。

④車両ECUのIJ2の線をカットしてECU側へADICの白/黄色線、車両側へADICの黄色線をオス・メスギボシにより接続します。

⑤車両ECUのIJ3の線をカットしてECU側へADICの白/茶色線、車両側へADICの茶色線をオス・メスギボシにより接続します。

⑥車両ECUのIJ4の線をカットしてECU側へADICの白/青色線、車両側へADICの水色線をオス・メスギボシにより接続します。

⑦車両ECUのIJ5の線をカットしてECU側へADICの青/黒色線、車両側へADICの青色線をオス・メスギボシにより接続します。

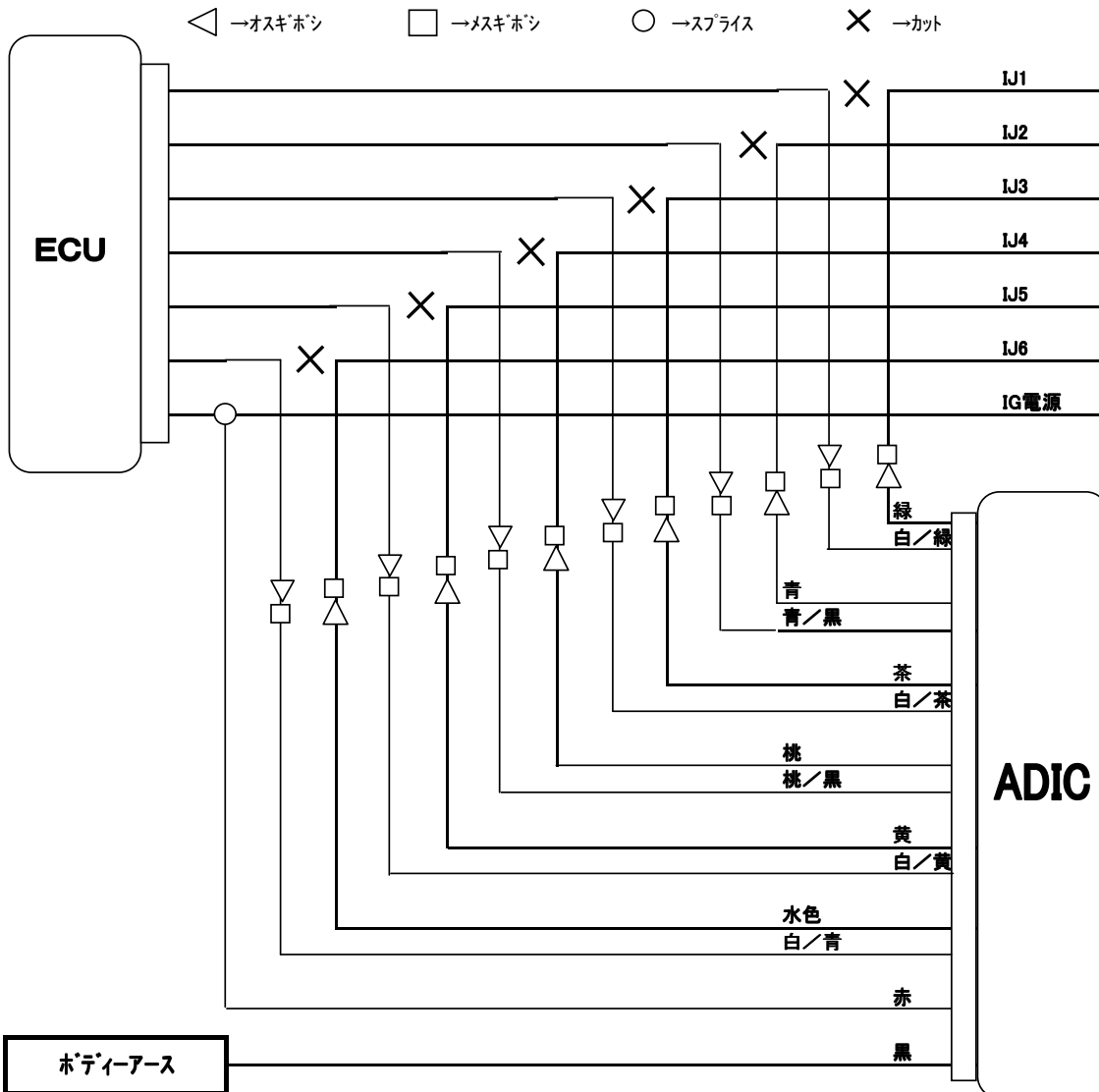
⑧車両ECUのIJ6の線をカットしてECU側へADICの桃/黒色線、車両側へADICの桃色線をオス・メスギボシにより接続します。

⑨運転の操作の妨げにならぬよう、配線をまとめて下さい。

(V6) V型6気筒車 配線図

車両端子図を参考にADICより出ている14本の線をECUへ配線して下さい。

注意！ 燃料噴射に関わる部分です。接続位置、接触には最善の注意をはらって作業をおこなして下さい。



- ①車両ECUのIG電源線へADICの赤色線をスプライスにより接続します。
*もしくはイグニッションキーONにて12Vかかる線へ接続して下さい。
- ②ADICの黒色線をボディーアースして下さい。
- ③車両ECUのIJ1の線をカットしてECU側へADICの白/緑色線、車両側へADICの緑色線をオス・メスギボシにより接続します。
- ④車両ECUのIJ2の線をカットしてECU側へADICの青/黒色線、車両側へADICの青色線をオス・メスギボシにより接続します。
- ⑤車両ECUのIJ3の線をカットしてECU側へADICの白/茶色線、車両側へADICの茶色線をオス・メスギボシにより接続します。
- ⑥車両ECUのIJ4の線をカットしてECU側へADICの桃/黒色線、車両側へADICの桃色線をオス・メスギボシにより接続します。
- ⑦車両ECUのIJ5の線をカットしてECU側へADICの白/黄色線、車両側へADICの黄色線をオス・メスギボシにより接続します。
- ⑧車両ECUのIJ6の線をカットしてECU側へADICの白/青色線、車両側へADICの水色線をオス・メスギボシにより接続します。
- ⑨運転の操作の妨げにならぬよう、配線をまとめて下さい。

<参考> *日産VQ35DE(Z33/V35)純正ECU配線色です。
年式により配線色が異なる場合もあります。ECU端子位置を優先させ、配線色はあくまで参考程度に考えて下さい。
このタイプのECUは、カバーの関係でECUよりある程度離れたところの配線をカット接続して下さい。

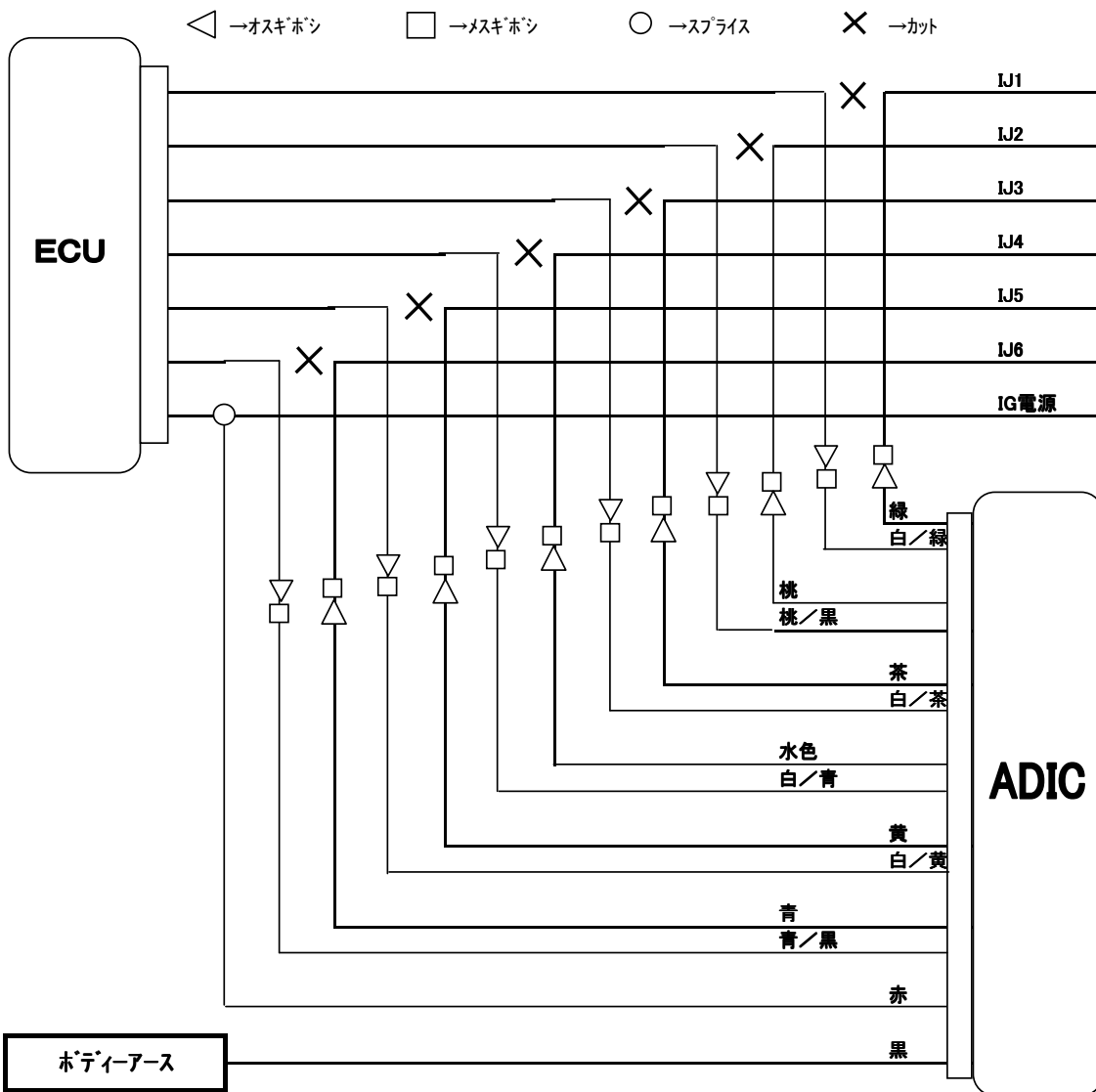
車名	IJ1	IJ2	IJ3	IJ4	IJ5	IJ6
Z33	赤/黒	黒/赤	赤/黄	白/黒	水色	薄緑
V35	赤/黒	青/白	薄緑	白/黒	緑	青

(F6) 水平対抗6気筒車 配線図

***必ずSX6の本体を使用して下さい。SG6は使用出来ません。**

車両端子図を参考にADICより出ている14本の線をECUへ配線して下さい。

注意！ 燃料噴射に関わる部分です。接続位置、接触には最善の注意をはらって作業をおこなって下さい。



①車両ECUのIG電源線へADICの赤色線をスプライスにより接続します。

*もしくはイグニッションキーONにて12Vかかる線へ接続して下さい。

②ADICの黒色線をボディーアースして下さい。

③車両ECUのIJ1の線をカットしてECU側へADICの白/緑色線、車両側へADICの緑色線をオス・メスギボシにより接続します。

④車両ECUのIJ2の線をカットしてECU側へADICの桃/黒色線、車両側へADICの桃色線をオス・メスギボシにより接続します。

⑤車両ECUのIJ3の線をカットしてECU側へADICの白/茶色線、車両側へADICの茶色線をオス・メスギボシにより接続します。

⑥車両ECUのIJ4の線をカットしてECU側へADICの白/青色線、車両側へADICの水色線をオス・メスギボシにより接続します。

⑦車両ECUのIJ5の線をカットしてECU側へADICの白/黄色線、車両側へADICの黄色線をオス・メスギボシにより接続します。

⑧車両ECUのIJ6の線をカットしてECU側へADICの青/黒色線、車両側へADICの青色線をオス・メスギボシにより接続します。

⑨運転の操作の妨げにならぬよう、配線をまとめて下さい。